



## 土居直之さん

(72歳・西山台)

様々なご縁に恵まれてきました。日々広がっていくご縁のおかげで、毎日楽しく過ごしています。

広島県で生まれ、54年前の就職を機に大阪にきた土居直之さん。退職してからは地域活動に精力的に取り組んでいます。

「大阪狭山市に引っ越してきて48年が経ちました。現役時代は、ご近所さんしか地域のかかわりはありませんでしたが、たまたま知り合いに自治会の活動に誘われました。誘われると断れない性格で、『できることならやるよ』と参加しました(笑)。まず始めたのが子どもたちの見守り活動。はじめは1年だけのつもりだったんですが、もう4年くらい続いています。続けていると子どもたちが覚えてくれて、向こうからあいさつしてくれます。中にはシャイな子もありますが、根気強くあいさつを続けていくとだんだん心を開いてくれて、あいさつを返してくれるときはうれしかったですね。また、昨日までランドセルを背負っていた小学生が中学生になったり、高校生になって自転車通学していたり、日々成長していく姿に驚かされています」

ある日、さやりんおでかけサポートの募集がありました。

「自治会でボランティアを募っていて、該当する年齢だったのでも手を挙げました。よく利用されるのは、通院やスーパーへの買いものなど。利用者を送迎してサポートします。もともと接客業をしていたこともあって楽しくやっています」

さやりんおでかけサポートで特に気を付けていることは、

「やっぱり安全運転ですね。スピードはもちろん、曲がるときは膨らみ過ぎて体に負担がかからないようにしています。また、利用者が退屈しないようなるべくお話するようにしていますが、自分が一番楽しんでいるかもしれない(笑)。自分が住んでいる地域以外の人も知り合いになったり、日々ご縁が広がっています」

リピーターが多いそうです。

「前に利用してくれた人が『この前はありがとう！』ってまた利用してくれると、やっていて良かったなと思います。まだまだ知られていないこともあるので、より多くの人に利用してもらえよう、75歳まで楽しみながら続けたいですね」

明日はどんな人を乗せていくのでしょうか。

## 大阪狭山市エンディングノートを配布します

医療や介護、相続や葬儀などについて、希望する内容を書き記すことで、「自分の望む最期の迎え方」を考えるきっかけとなる「大阪狭山市エンディングノート」を配布します。エンディングノートは遺言書と違い法的効力がないため、修正や加筆が自由に気軽に書くことができます。

**配布場所** 市役所高齢者福祉グループ、地域包括支援センター、ウンステライト、さやま荘、社会福祉協議会、市立公民館、保健センター ※2月2日(月)から配布。なくなり次第終了

**問い合わせ** 高齢者福祉グループ ☎360-4085

### さやま荘落語会

とき 2月26日(木)午後1時30分～2時30分  
ところ さやま荘・多目的室  
問い合わせ さやま荘 ☎366-2022



### 風呂の日

とき 2月26日(木)午前11時～午後4時(午後3時30分まで受け付け)  
ところ さやま荘 ※風呂の日以外は入浴料100円が必要です  
問い合わせ さやま荘 ☎366-2022

### 福祉センター閉館日

さやま荘 / 2月8日(日)・11日(祝)・23日(祝)、さつき荘 / 2月8日(日)・11日(祝)・14日(土)・22日(日)・23日(祝)・28日(土)

### シルバー人材センター 会員募集

市内に住んでいて、働く意欲がある60歳以上の健康な人であれば、だれでも登録できます。主な仕事の内容は、植木のせん定、除草、植木の水やり、網戸・障子の張り替え、屋内外清掃、事業所手伝い、家事援助、ちらし配布、あて名書き、施設管理、空き家管理、一般事務などです。



**問い合わせ** シルバー人材センター ☎366-2277